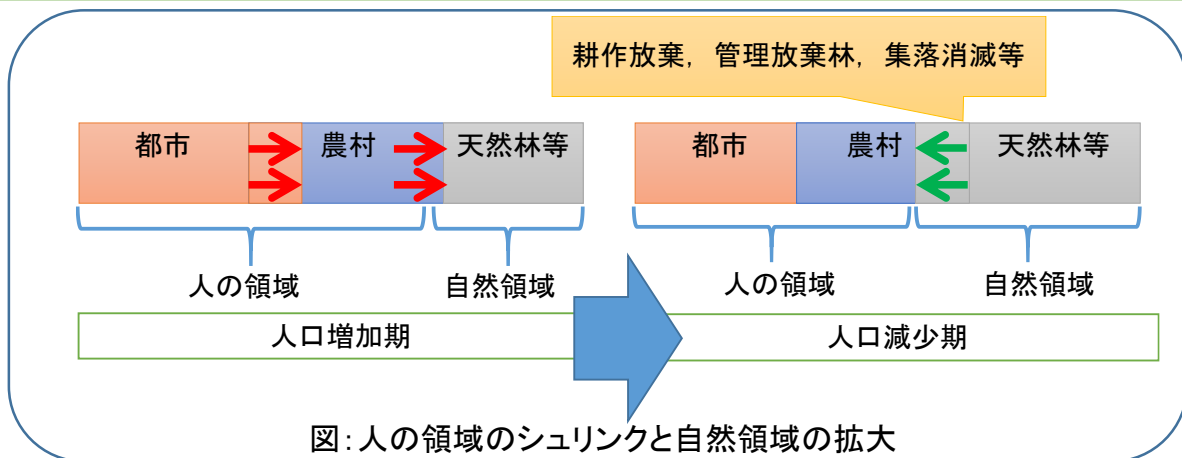


# 次期水循環基本計画案作成に向けた話題提供

1. 人の領域と自然領域の境界制御
2. 水循環施策と土地利用施策の整合

# 1. 人の領域と自然領域の境界制御



都市への人口集中と農村の過疎化

人の領域のシュリンクと自然領域の拡大

土砂災害リスクの増大(治水)  
水源管理力の低下(利水)  
鳥獣害の増大



山間部の農業用水路(砂防の役割も果たす)



土砂とともに流された倒木



## 望まれる施策展開

### ■山間農業集落の維持による水インフラの持続的管理

→道路網、水路網の維持(「小さな拠点」事業等)

→林業の復興による山地の適切な管理

### ■水資源管理組織としての「土地改良区」の再編

→土地改良法改正(H29, H30)や「ため池新法」立案等による、  
行政・改良区・地域住民の協働水管理体制の構築。



小さな拠点の形成(まち・ひと・しごと創生本部)



## 2. 水循環施策と土地利用施策の整合



- ・都市計画: 用途地域, 市街化調整区域以外では, 開発規制が極めて緩い
- ・農地転用: 主に農地の優良度に鑑みた規制体系

スプロールの促進  
土地利用の非合理化

2000年都市計画法改正  
→線引きが選択制に

水インフラ整備の非効率化(利水)  
水田の水資源涵養機能等, 多面的機能の喪失(利水)  
遊水機能の喪失(治水)  
水害時における農業排水インフラや農地の損壊(治水)

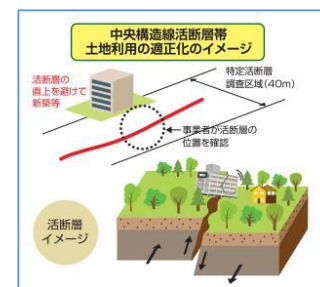
### 望まれる施策展開

- 水インフラの効率化や遊水機能等を考慮した土地利用計画の立案  
→適切なゾーニングと水田の保全  
(転用規制, 開発規制, 災害復旧支援)  
→公園機能, 湿地保全機能を持つ遊水池の整備
- 農地の多面的機能に鑑みた農地転用規制

2015年都市農業  
基本法に期待



花園多目的遊水池(東大阪市)



条例に基づく特定活断層調査区域の指定(徳島県)



地下水涵養田(熊本市)